

臨床検査基準値一覧

検査前管理手順（添付15-検査案内-3院内項目一覧 第2版）より抜粋

2020年 09月01日版

変更内容

- 2018年3月26日 「共用基準範囲」採用
(日本臨床検査標準化協議会:JCCLS)
- 2020年3月2日 QP30検査案内廃止に伴う出典先変更
FDP-E削除(2018/4/30測定終了)
MPO-ANCA,PR3-ANCA(2019/4/1院内導入、基準値変更なし)
気管支肺胞洗浄液基準値変更
誤字脱字修正
- 2020年9月1日 ALP,LDの測定方法変更
ALP基準値変更
乳頭分泌液CEA削除(2020/06/01測定終了)
エンドトキシン削除(2020/05/07測定終了)
IgG4(2020/6/1院内導入、基準値変更なし)

公立大学法人横浜市立大学附属病院
臨床検査部・輸血細胞治療部

QP20検査前管理手順添付15-検査案内3から抜粋した基準値表を
臨床検査基準値一覧とし、2020年3月2日版を第1版とする。

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
インフルエンザウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
R S ウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	鼻腔ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液、角結膜ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
A群β溶連菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
尿中肺炎球菌抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ 滅菌スピンツ	インセイ
尿中レジオネラ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	尿	尿1.0mL	滅菌カップ 滅菌スピンツ	インセイ
C. ディフィシル毒素	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器、滅菌カップ	インセイ
ロタウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
アデノウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
ピロリ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	ヘリコバクター・ピロリの便採取容器	インセイ
ノロウイルス抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	糞便	0.5g	採便容器	インセイ
クリプトコッカス抗原	医生物検査室	逆受身ラテックス凝集反応	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピンツ	インセイ
細菌性髄膜炎抗原（肺炎球菌抗原）	検査前管理手順（添付15-検査案内-3院内項目）	イムノクロマト法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピンツ	インセイ
細菌性髄膜炎抗原（ヘモフィルスb型抗原）	医生物検査室	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピンツ	インセイ
マイコプラズマ抗原	医生物検査室	イムノクロマト法	咽頭ぬぐい液	特になし	輸送容器、専用綿棒	インセイ
精液	検体検査室（一般部門）	鏡検法	精液	特になし	滅菌シグカップ	精子数 ≥40×10 ⁶ /mL 精液量 ≥2.0mL 運動率…≥50%
気管支肺胞洗浄液	検体検査室（一般部門）	遠心分離細胞数算定細胞分画測定	気管支肺胞洗浄液	BAL 2,3全量	気管吸引用キット専用スピンツ	マクロファージ 78.1～97.9% リンパ球 1.7～20.3% 好中球 0.0～2.3% 好酸球 <1% 好塩基球 <1%
尿-比重半定量	検体検査室（一般部門）	屈折率測定法	尿	尿10mL	尿カップ	1.006～1.030
尿-pH半定量	検体検査室（一般部門）	pH指示薬法	尿	尿10mL	尿カップ	pH4.5～7.5
尿-蛋白半定量	検体検査室（一般部門）	pH指示薬のタンパク誤差反応	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-潜血反応	検体検査室（一般部門）	ヘモグロビン(Hb)のペルオキシダーゼ様作用	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-白血球反応	検体検査室（一般部門）	白血球のエステラーゼ活性法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-亜硝酸塩反応	検体検査室（一般部門）	グリース反応	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-糖半定量	検体検査室（一般部門）	酵素法（GOD(グルコースオキシダーゼ), POD(ペルオキシダーゼ)法)	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-アセトン体	検体検査室（一般部門）	アルカリニトロプルシド法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ビリルビン	検体検査室（一般部門）	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿カップ	—
尿-ウロビリノーゲン	検体検査室（一般部門）	アゾカップリング法	尿	尿10mL	尿カップ	±
尿-沈渣	検体検査室（一般部門）	ア:顕微鏡画像解析法 イ:鏡検法	尿	尿10mL	尿カップ	赤血球: ≤4個/HPF 白血球: ≤4個/HPF
尿-蛋白	検体検査室（一般部門）	ピロガロールレッド法	尿	尿1.0mL	尿カップ	20～120mg/day
μ-A L B	検体検査室（一般部門）	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ	5.7±2.6mg/日 蓄尿 ≤18.6mg/g・Cre

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
尿-N a	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	1.6～5.8g/day (70-250mmol/L/day)
尿-K	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	1～3.9g/day (25-100mmol/L/day)
尿-C l	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	2.5～8.9g/day (70-250mmol/L/day)
尿-C a	検体検査室（一般部門）	ホスフォリパーゼD (PLD) 酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.1～0.2g/day
尿-M g	検体検査室（一般部門）	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.02～0.13g/day
尿-無機リン	検体検査室（一般部門）	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.5～1.0g/day
尿-尿素窒素	検体検査室（一般部門）	ウレアーゼGLDH法 (アンモニア消去法)	尿	尿1.0mL	尿カップ°	6.5～13.0g/day
尿-クレアチニン	検体検査室（一般部門）	酵素法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.5～1.5g/day
尿-尿酸	検体検査室（一般部門）	ウリカーゼ-POD法 (酵素法)	尿	尿1.0mL	尿カップ°	0.4～0.8g/day
尿-グルコース	検体検査室（一般部門）	Gluc-DH-UV法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	40～85mg/day
尿-N A G	検体検査室（一般部門）	合成基質MPT-NAG法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	M:1.9～8.7 U/day F:1.3～4.5 U/day
尿-β ₂ マイクログロブリン	検体検査室（一般部門）	ラテックス凝集法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	11～253 μg/day
尿-アミラーゼ	検体検査室（一般部門）	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	尿	尿1.0mL	尿カップ°	<700 U/L
尿-ミオグロビン	検体検査室（一般部門）	ラテックス免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	該当なし
尿-浸透圧	検体検査室（一般部門）	過冷却氷点降下法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	50～1300mOsm/Kg・H2O 通常500～800mOsm/Kg・H2O
尿-I g G	検体検査室（一般部門）	免疫比濁法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	該当なし
トリエージ	検体検査室（一般部門）	金コロイド粒子免疫法	尿	尿1.0mL	尿カップ°	インセイ
髄液-比重	検体検査室（一般部門）	屈折計法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	1.005～1.007
髄液-細胞数	検体検査室（一般部門）	鏡検法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	≤5/1 μL 主としてリンパ球、表示≤15/3
髄液-沈渣	検体検査室（一般部門）	髄液沈渣鏡検法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
髄液-蛋白	検体検査室（一般部門）	ピロガロールレッド法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	10～40mg/dL
髄液μ-A L B	検体検査室（一般部門）	免疫比濁法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	10～30mg/dL
髄液-β2マイクログロブリン	検体検査室（一般部門）	ラテックス凝集法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	0.44～1.24mg/L
髄液-グルコース	検体検査室（一般部門）	Gluc-DH-UV法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	50～75mg/dL
髄液-N a	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	130～150mEq/L
髄液-K	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	2.5～3.5mEq/L
髄液-C l	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	120～125mEq/L
髄液-C a	検体検査室（一般部門）	ホスフォリパーゼD (PLD) 酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	4.4～5.0mg/dL (1.10～1.25mmol/L)
髄液-無機リン	検体検査室（一般部門）	酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液-I g G	検体検査室（一般部門）	免疫比濁法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	1～3 mg/dL
髄液-ヒルビン酸	検体検査室（一般部門）	酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	0.63～0.77mg/dL
髄液-乳酸	検体検査室（一般部門）	酵素法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	13.7～20.5mg/dL (1.52～2.27mmol/L)
髄液-L D H	検体検査室（一般部門）	JSCC標準化対応法	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	≤25 U/L
髄液-C E A	検体検査室（一般部門）	ECLIA法 (電気化学発光免疫測定法)	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
髄液－αフェトプロテイン	検体検査室（一般部門）	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
髄液－H I V A g A b	検体検査室（一般部門）	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ（S/C0:<1.00）
髄液－H T L V－I / II抗体	検体検査室（一般部門）	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ（S/C0:<1.00）
髄液－梅毒T P抗体	検体検査室（一般部門）	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	インセイ（S/C0:<1.00）
髄液－MTX	検体検査室（一般部門）	CLIA法（化学発光免疫測定法）	髄液	髄液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－比重	検体検査室（一般部門）	屈折計法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液:≧1.018 イ濾出液:≦1.015
体腔液－細胞数	検体検査室（一般部門）	鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	ア浸出液:≧1000個/μl イ濾出液:≦1000個/μl
体腔液－沈渣所見	検体検査室（一般部門）	体腔液沈渣鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
白血球分画	検体検査室（一般部門）	鏡検法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液3.0mL	滅菌スピッツ	設定なし
体腔液－蛋白	検体検査室（一般部門）	ビウレット法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アルブミン	検体検査室（一般部門）	BCP改良法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－グルコース	検体検査室（一般部門）	Gluco-DH-UV法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－N a	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－K	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－C l	検体検査室（一般部門）	イオン選択電極法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－尿素窒素	検体検査室（一般部門）	ウレアーゼGLDH法（アンモニア消去法）	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－クレアチニン	検体検査室（一般部門）	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－尿酸	検体検査室（一般部門）	ウリカーゼ-POD法（酵素法）	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－C a	検体検査室（一般部門）	ホスフォリパーゼD(PLD)酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－無機リン	検体検査室（一般部門）	酵素法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－R F	検体検査室（一般部門）	ラテックス凝集法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－L D H	検体検査室（一般部門）	JSCC標準化対応法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－A L P	検体検査室（一般部門）	JSCC標準化対応法	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液アミラーゼ	検体検査室（一般部門）	JSCC標準化対応法（Et-G7-PNP法）	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液－C A 1 2 5	検体検査室（一般部門）	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液（腹水・胸水・心嚢水他）	体腔液1.0mL	滅菌スピッツ	該当なし

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
体腔液-C A 1 9 - 9	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-C E A	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-A F P	検体検査室(一般部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
体腔液-総ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	体腔液(腹水・胸水・心嚢水他)	体腔液 1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆渣	検体検査室(一般部門)	鏡検法	胆汁	胆汁3～5mL	滅菌スピッツ	少量の粘液、上皮細胞、1～2コ/μLの白血球
胆汁-N a	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-K	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C l	検体検査室(一般部門)	イオン選択電極法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C a	検体検査室(一般部門)	ホスフォリパーゼD(PLD)酵素法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総ビリルビン	検体検査室(一般部門)	酵素法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-総コレステロール	検体検査室(一般部門)	酵素法	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
胆汁-C E A	検体検査室(一般部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	胆汁	胆汁1. 0mL	滅菌スピッツ	該当なし
便-ヘモグロビン	検体検査室(一般部門)	イムノクロマト	糞便:採便容器‘栄研’に便を採取		便ヘモグロビン	—
便-ポキール虫卵	検体検査室(一般部門)	セロファンテープ検肛法	肛門の周囲にいる虫卵を接着採取	2日間採取	ポキール	—
便-集卵法虫卵	検体検査室(一般部門)	ア 集卵法:大島法 イ 浮遊法:硫酸亜鉛遠心浮遊法	糞便	1. 0g	滅菌シコップ	—
便-虫体検出	検体検査室(一般部門)	鏡検法	糞便	1. 0g	滅菌シコップ	—
便-塗抹鏡検虫卵	検体検査室(一般部門)	薄層塗抹法	糞便	1. 0g	滅菌シコップ	—
白血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)	血液2. 0mL	末血管ED-2K	3. 3～8. 6×10 ³ /μL
赤血球数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:4. 35～5. 55×10 ⁶ /μL F:3. 86～4. 92×10 ⁶ /μL
ヘモグロビン濃度	検体検査室(血液部門)	シアンメトヘモグロビン法変法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:13. 7～16. 8g/dL F:11. 6～14. 8g/dL
ヘマトクリット	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	M:40. 7～50. 1% F:35. 1～44. 4%
M C V	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	83. 6～98. 2fL
M C H	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	27. 5～33. 2pg
M C H C	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	31. 7～35. 3g/dL
赤血球分布幅(R D W)	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	11. 6～14. 2%
血小板数	検体検査室(血液部門)	電気抵抗法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	158～348×10 ³ /μL
平均血小板体積(M P V)	検体検査室(血液部門)		血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	8. 0～11. 2fL
網赤血球数	検体検査室(血液部門)	ア ニューメチレンブルー・VCSn法 イ ブレッカー法(視算法)	血液(EDTA2K加血)	血液2. 0mL	末血管ED-2K	網赤血球比率:0. 5～2. 0% 網赤血球数:2. 1～9. 5×10 ⁴ /μL 幼若網赤血球分画:0. 22～0. 42

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
末梢血液像	検体検査室(血液部門)	アVCSn法 イ視算法	血液(EDTA2K加血)		末血管ED-2K	自動法 好中球：39.6～69.7% リンパ球：22.4～51.2% 単球：2.7～7.0% 好酸球：0.8～9.3% 好塩基球：0.4～2.0% 視算法 好中球総数：43.5～72.0% 桿状核好中球：0.0～7.0% 分葉核好中球：37.5～66.0% リンパ球：19.5～47.0% 単球：2.2～10.4% 好酸球：0.0～6.0% 好塩基球：0.0～1.8% 異型リンパ球：0.0～1.4% 自動法・視算法の絶対数 好中球：1.6～5.3×10 ³ /μL リンパ球：1.1～3.1×10 ³ /μL
好酸球数	検体検査室(血液部門)	VCSn法または視算法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	0.15～0.35×10 ³ /μL
アルカリホスファターゼ染色(NAP)	検体検査室(血液部門)	朝長法変法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	陽性率(rate) 75～95% 陽性指数(score) M:212.2±37.2(156～271) F:254.1±38.2(183～334)
出血時間	検体検査室(血液部門)	DuKe法	該当無し		該当無し	1～5min
A P T T	検体検査室(血液部門)	凝固時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	25.0～35.0 sec
プロトロンビン時間	検体検査室(血液部門)	Quick1段法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	0.87～1.15 INR
フィブリノーゲン	検体検査室(血液部門)	トロンビン時間法(光散乱測光方式)	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	186～385 mg/dL
可溶性フィブリン	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	≤7.0 μg/mL
F D P	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	<5 μg/mL
F D P-Dダイマー	検体検査室(血液部門)	ラテックス近赤外免疫比濁法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	≤0.7 μg/mL
アンチトロンビンⅢ	検体検査室(血液部門)	合成基質を用いた酵素化学的測定法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液1.8mL	凝固検査管	78～125%
血小板凝集能	検体検査室(血液部門)	透光度法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液10mL	凝固検査管	ADPは最終濃度0.5～1.0μmol/lでは一次凝集、2.5～5.0μmol/lで二次凝集を認める。 エピネフリンは0.2～2μg/mL、リストーセチンは1～1.2mg/mL、コラーゲンは最終濃度1～4μg/mLで強い凝集を認める。 適性濃度以上の血小板惹起物質を加えても凝集が生じないか、微弱な場合は血小板機能低下と診断され、低濃度または無添加で凝集が生じる(自然凝集)場合は血小板機能亢進と診断される。
血小板粘着能	検体検査室(血液部門)	Salzman変法(コラーゲンビーズカラム法)	血液(EDTA2K加血)	血液4.0mL	末血管ED-2K	M:12～60% F:13～50%
赤血球沈降速度	検体検査室(血液部門)	Westergren法	血液(3.8%クエン酸加採血管)	血液1.6mL	血沈管	M:2～10mm/hr F:3～15mm/hr

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
骨髓像	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髓	骨髓液 0.5mL	ED-2K(マイクロテナー)	芽球を除く顆粒球系（計） 40.0～50.0% 骨髓芽球 0.4～1.0% 好酸球 1.0～5.0% 好塩基球 0.0～0.4% リンパ球 15.0～25.0% 単球 2.8～5.4% 赤芽球系（計） 14.0～25.0% 前赤芽球 0.0～0.4% その他の赤芽球系 14.0～25.0% M/E比 1.2～3.8
C D 4 陽性リンパ球	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	CD4陽性細胞 (CD3+4+) 25.3～57.1%
C D 8 陽性リンパ球	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	CD8陽性細胞 (CD3+8+) 17.6～46.0%
N K 細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	NK細胞 (CD3-56+) 5.0～30.0%
T 細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	T細胞 (CD3+) 47.4～80.8%
B 細胞	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	血液(EDTA2K加血)	血液2.0mL	末血管ED-2K	B細胞 (CD19+) 5.2～26.3%
C D 34	検体検査室(血液部門)	フローサイトメトリー法	PBSCH 骨髓・臍帯血	各1.0mL	2mL セラムチューブ [®]	該当なし
骨髓有核細胞数	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髓	適量	ED-2K(マイクロテナー)	10～25×10 ⁴ /μL
骨髓巨核球数	検体検査室(血液部門)	視算法	骨髓	適量	ED-2K(マイクロテナー)	50～150/μL
クロスミキシング試験	検体検査室(血液部門)	凝固時間法	血漿(3.20%クエン酸加採血管)	血液3.6mL	凝固採血管	該当なし
血液型検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法 (CAT) または試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液2.0mL	血型採取管 (EDTA-2K管)	該当なし
輸血検査 輸血前血液型 不規則抗体 交差適合試験	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集法 (CAT) または試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
間接クームス検査	輸血 細胞治療部	ビーズカラム遠心凝集 (CAT) 法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液7.0mL	交差ED2K-7管	該当なし
直接クームス検査	輸血 細胞治療部	試験管法	抗凝固血 (EDTA加血)	血液7.0mL	交差ED2K-7管	陰性
総蛋白	検体検査室(臨化免疫部門)	ビウレット法	血清	血液1.0mL	フレイン管	6.6～8.1 g/dL
アルブミン	検体検査室(臨化免疫部門)	BCP改良法	血清	血液1.0mL	フレイン管	4.1～5.1 g/dL
蛋白分画	検体検査室(臨化免疫部門)	キャピラリー電気泳動	血清	血液1.0mL	フレイン管	A/G 1.2～1.9 ALB分画 54.4～66.1% α 1分画 2.7～4.3% α 2分画 6.2～10.5% β 分画 8.9～13.5% γ 分画 12.3～22.8%
C R P	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイン管	≤0.14 mg/dL
血清アミロイドA	検体検査室(臨化免疫部門)	ラテックス免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイン管	<8.0 μg/mL
尿素窒素	検体検査室(臨化免疫部門)	ウレアーゼGLDH法 (アンモニア消去法)	血清	血液1.0mL	フレイン管	8～20 mg/dL
クレアチニン	検体検査室(臨化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フレイン管	M:0.65～1.07 mg/dL F:0.46～0.79 mg/dL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
尿酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	ウリカーゼ-POD法 (酵素法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:3.7～7.8 mg/dL F:2.6～5.5 mg/dL
アンモニア	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素サイクリング 法	血漿(EDTA2K加 血)	血液2.0mL	アンモニア (EDTA-2K管)	12～66 μg/dL
N a	検体検査室(臨 化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	138～145mmol/L
K	検体検査室(臨 化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	3.6～4.8 mmol/L
C l	検体検査室(臨 化免疫部門)	イオン選択電極法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	101～108 mmol/L
C a	検体検査室(臨 化免疫部門)	ホスフォリパーゼ D(PLD)酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	8.8～10.1 mg/dL
M g	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	2.0～2.4 mg/dL
無機リン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	2.7～4.6 mg/dL
インスリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	1.84～12.2 μU/mL
グルコース	検体検査室(臨 化免疫部門)	GOD固定化酵素酸素 電極法	血漿(フッ化N a管)	血液2.0mL	フッ化Na管	73～109 mg/dL(空腹時)
ヘモグロビン-A1C (NGSP)	検体検査室(臨 化免疫部門)	HPLC法	血液(フッ化N a管)	血液2.0mL	フッ化Na管	4.9～6.0% (NGSP値) [4.3～5.8% (JDS値)]
クレアチンキナーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:59～248 U/L F:41～153 U/L
CK-MB	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫阻害法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	<12 U/L(国立循環器病研究セン ターの基準値を採用)
AST (GOT)	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	13～30 U/L
ALT (GPT)	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:10～42 U/L F:7～23 U/L
乳酸脱水素酵素	検体検査室(臨 化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	124～222 U/L
アルカリフォスファ ターゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	IFCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	38～113 U/L
γ-GTP	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:13～64 U/L F:9～32 U/L
アルドラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	2.2～4.7 U/L
コリンエステラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法(p-ヒドロキ シベンゾイルコリン 法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:240～486 U/L F:201～421 U/L
アミラーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	JSCC標準化対応法 (Et-G7-PNP法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	44～132 U/L
リパーゼ	検体検査室(臨 化免疫部門)	合成基質比色法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	14～54 U/l
乳酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化N a管)	血液2.0mL	乳酸比 ^レ 管 (フッ化Na管)	4～16 mg/dL (0.44～1.78mmol/L)
ピルビン酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血漿(フッ化N a管)	血液2.0mL	乳酸比 ^レ 管 (フッ化Na管)	0.3～0.9 mg/dL(文献値)
血清浸透圧	検体検査室(臨 化免疫部門)	過冷却氷点降下法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	275～290 mOsm/Kg・H2O

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
鉄	検体検査室(臨 化免疫部門)	Nitroso-PSAP直接 法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	40～188 μg/dL
ハプトグロビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	19～170 mg/dL
トランスフェリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:190-300 mg/dL F:200-340 mg/dL
β 2-ミクログロ ブリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	0.80～2.00 μg/mL
ミオグロビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	<70 ng/mL(2009年9月より)
フェリチン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:25～280 ng/mL F:10～120 ng/mL
総ビリルビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	0.4～1.5 mg/dL
直接ビリルビン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	0.0～0.3 mg/dL
総コレステロール	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	142～248 mg/dL
中性脂肪	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法(グリセ ロール消去法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:40～234 mg/dL F:30～117 mg/dL
HDLコレステロー ル	検体検査室(臨 化免疫部門)	化学修飾酵素法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	M:38～90 mg/dL F:48～103 mg/dL
LDLコレステロー ル	検体検査室(臨 化免疫部門)	選択的可溶化法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	65～163 mg/dL
カルバマゼピン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫凝 集阻害法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
フェノバルビタール	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫凝 集阻害法□	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
フェニトイン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫凝 集阻害法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
バルプロ酸	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫凝 集阻害法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
ジゴキシン	検体検査室(臨 化免疫部門)	イムノアッセイ法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
テオフィリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫凝 集阻害法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
バンコマイシン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
メトトレキサート	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光 免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	該当なし
シクロスポリン	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素免疫測定法	血液(EDTA2K加 血)	血液2.0mL	血中薬物ED- 2K	該当なし
タクロリムス	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素免疫測定法	血液(EDTA2K加 血)	血液2.0mL	血中薬物ED- 2K	該当なし
アルコール	検体検査室(臨 化免疫部門)	酵素法(ADH-UV 系)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	<3mg/dL
高感度TSH	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	0.500～5.00 μIU/mL
遊離T3	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フ ^レ イン管	2.3～4.0 pg/mL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
遊離 T 4	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	0.90～1.70 ng/dL
B N P	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	EDTA血漿	血液2.0mL	内分泌ED2K	≤18.4 pg/mL
I g G	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	861～1747 mg/dL
I g A	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	93～393 mg/dL
I g M	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	M:33～183 mg/dL F:50～269 mg/dL
I g E	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	<300 IU/mL
C 3	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清□	血液1.0mL	フレイ管	73～138 mg/dL
C 4	検体検査室(臨 化免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	11～31 mg/dL
C H 5 0	検体検査室(臨 化免疫部門)	Mayer法相対比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	30.0～46.0 U/mL
リウマチ因子（定 量）	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	フレイ管	≤15 IU/mL
M M P - 3	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	M:36.9～121.0 ng/mL F:17.3～59.7 ng/mL
C E A	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	0.6～3.8 ng/mL(2004/7/21より)
αフェトプロテイン	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	1～7 ng/mL(2004/7/21より)
C A 1 2 5	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	M:6～19 U/mL(2004/7/21より) F:8～36 U/mL
C A 1 5 - 3	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	<25 U/mL
C A 1 9 - 9	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	M:1～29 U/mL(2004/7/21より) F:1～37 U/mL
S C C 抗原	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法（化学発光 免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	≤1.9 ng/mL
P S A	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	ア 加齢により上昇する。 40代：2.0、50代：3.0、 60代：4.0、70代：5.0、 80代：6.0ng/mL イ PSA値(タンデム)：4ng/mLが カットオフ値
F - P S A	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	該当なし
C Y F R A	検体検査室(臨 化免疫部門)	ECLIA法(電気化学 発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	参考基準値：<2.8ng/mL カットオフ値：3.5ng/mL（肺良性 疾患を対象としたROC曲線より算 出）
β-Dグルカン	検体検査室(血 液部門)	比濁時間分析法	血漿(ヘパリン Na入り滅菌採血 管)	血液3.0mL	エントトキシン管	<11.0pg/mL(カットオフ値)
梅毒RPR	検体検査室(臨 化免疫部門)	ラテックス免疫比 濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ(R.U；<1)
梅毒T P 抗体	検体検査室(臨 化免疫部門)	CLIA法(化学発光免 疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ(S/CO:<1.00)

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
H B s 抗原	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (<0.05IU/mL)
H B s 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (<10mIU/mL)
H B c 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (S/C0:<1.00)
H B e 抗原	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (S/C0:<1.00)
H B e 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (%Inh:<50)
H C V 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (S/C0:<1.00)
H T L V- I / II 抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (S/C0:<1.00)
H I V A g / A b	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	インセイ (S/C0:<1.00)
H C V- R N A (定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ :LogIU/mL
H I V- 1 R N A (定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ :コピ- /mL
HBV-DNA (定量)	検体検査室(臨床免疫部門)	リアルタイムPCR法	EDTA血漿	血液9.0mL	紫-PCR	ケンシュツセズ :LogIU/mL ケンシュツセズ :Logコピ- /mL
K L- 6	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	フレイ管	<500U/mL (カットオフ値)
H C G	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	ア F(非妊婦): ≤3mIU/mL イ F(閉経後): ≤6mIU/mL ウ M: ≤2mIU/mL
P I V K A II	検体検査室(臨床免疫部門)	LBA-EATA法 (Liquid-phase Binding Assay)	血清	血液1.0mL	フレイ管	<40mAU/mL
I C G 試験	検体検査室(臨床免疫部門)	生食法	血清	血液1.0mL	フレイ管	15分血中停滞率(R)0-10% 血中消失率(K)0.168~0.206 但し臨床検査部の結果値はmg/dLの濃度として表示されている。
トロポニン I	検体検査室(臨床免疫部門)	CLIA法(化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	≤26.2pg/mL
プロカルシトニン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	<0.05 ng/mL
テストステロン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	M:1.31~8.71ng/mL F:0.11~0.47ng/mL(卵胞期、排卵期、黄体期) 0.04~0.43ng/mL(閉経期)
トランスサイレチン	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	22~40 mg/dL
R B P (レチノール結合タンパク)	検体検査室(臨床免疫部門)	ラテックス凝集法	血清	血液1.0mL	フレイ管	3.5~5.5 mg/dL
可溶性 I L- 2 レセプター	検体検査室(臨床免疫部門)	ELISA法(二抗体固相酵素免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	145~519 U/mL
A C T H	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	EDTA血漿	血液2.0mL	内分泌ED2K	7.2~63.3 pg/mL
C ペプチド	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法(電気化学発光免疫測定法)	血清	血液1.0mL	フレイ管	0.8~2.5 ng/mL

検査項目	検査室	検査方法	材料	採血量	容器	基準値
P T Hインタクト	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	15～65 pg/mL
αフェトプロテイン分画（AFP-L3%）	検体検査室(臨床免疫部門)	LBA-EATA法（Liquid-phase Binding Assay）	血清	血液1.0mL	フレイ管	AFP-L3%:<10%
グリコアルブミン	検体検査室(臨床免疫部門)	酵素法	血清	血液1.0mL	フレイ管	11.0～16.0%
コルチゾール	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	EDTA血漿	血液2.0mL	内分泌ED2K	7.1～19.6 μg/dL
T S Hレセプター抗体	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	<2.0 IU/L
サイログロブリン	検体検査室(臨床免疫部門)	ECLIA法（電気化学発光免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	≤33.7 ng/mL
MPO-ANCA	検体検査室(血液部門)	CELIA法（化学発光酵素免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	<3.5 U/mL
PR3-ANCA	検体検査室(血液部門)	CELIA法（化学発光酵素免疫測定法）	血清	血液1.0mL	フレイ管	<3.5 U/mL
IgG4	検体検査室(臨床免疫部門)	免疫比濁法	血清	血液1.0mL	フレイ管	11～121 mg/dL